

数値目標の達成状況（がんセンター研究所）

医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

| 数値目標 | 単位 | 2022 実績 | 2023 目標 | 2023 実績見込 | 達成率 | 2024 目標 | 目標未達理由と今後の対策 |
|-----------------|----|---------|---------|-----------|--------|---------|--|
| 1 研究員あたり研究英語論文数 | 件 | 2.9 | 3.0 | 3.1 | 103.3% | 3.5 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語論文数は目標値を発出できるよう、各分野長に進捗管理を徹底するよう周知する。年間を通じて実績値に波があるため、年間で見込みを立てた論文発出に努めるよう継続して意思統一していく。 |
| 学会・学術会議発表件数 | 件 | 111 | 75 | 108 | 144.0% | 75 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若手研究者の発表の促進に加え、主学会の日本癌学会で活発な発表が行われるよう分野長会で意思統一する。COVID19 が 5 類に移行し、学会がリアルでも実施されるようになって高い達成率となったためこれを継続する。 |
| 公的研究費獲得件数 | 件 | 94 | 80 | 81 | 101.3% | 80 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> AMED 等の公的研究費への応募を継続して積極的に行うよう分野長に周知する。採択件数での目標達成に向けて、若手も含めて積極的にセンター内で個別または共同で研究費への応募を継続していくよう意思統一する。 |
| 公的研究費獲得額 | 千円 | 439,051 | 300,000 | 401,817 | 133.9% | 350,000 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> AMED 等の研究費への応募を行うよう分野長に周知する。獲得額での目標達成と上積みに向けて、若手も含めて積極的にセンター内で個別または共同で大型研究費を含めて研究費への応募を継続していくよう意思統一する。 |
| 病院との連携研究件数 | 件 | 64 | 45 | 63 | 140.0% | 50 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院との共同研究は継続中のものを含め、大きく年間目標を上回った。研究所・病院合同セミナーにおいて、バイオバンクの利活用の方法や病院で行われた研究の実例の紹介、共同研究の成果報告などを行い、さらに共同研究を増やす試みを行っており、今後もこのような周知活動を継続する。 |
| 企業との共同研究件数 | 件 | 7 | 5 | 3 | 60.0% | 6 | <p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業側のアカデミアへの期待が成果性の高いものに移行し、早期からの共同開発の意識が低下しているため、件数では目標を下回った。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学会学術集会などでの企業との個別面談や、あいちものづくりエキスポへのブース出展等を実施し、企業への働きかけによる共同研究誘致を行ったが、研究所長、副研究所長を中心にさらに企業への働きかけを行い、共同研究誘致につなげる。 |
| 企業との共同研究資金獲得額 | 千円 | 50,029 | 30,000 | 50,522 | 168.4% | 35,000 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の求める成果性が高い共同研究に絞られているため 1 件あたりの研究費の単価は高く、件数については未達だが獲得額は大きく目標を超えており、これらの共同研究を継続できるよう努める。学会学術集会などで企業との個別面談やあいちものづくりエキスポへのブース出展等を実施し企業への働きかけを行っており、さらに共同研究誘致を継続していく。 |

| | | | | | | | |
|--------------|---|-----|----|-----|--------|----|--|
| 学術機関との共同研究件数 | 件 | 174 | 85 | 155 | 182.3% | 95 | 【今後の対策】 ・学術機関との共同研究は継続中のものを含め、年間目標を上回っている。招聘セミナーや共同研究提案などで、更なる連携を進められるよう分野長会で情報共有しているが、共同研究を通じて大型研究費の獲得につながる可能性もあることから上積みを図るよう分野長会で意思統一する。 |
| 若手がん研究者の受入数 | 人 | 42 | 40 | 35 | 87.5% | 45 | 【目標未達理由】 ・分野長選考中の分野があるため、若手研究者の受入れが想定より進められなかったことで、受け入れ数で目標を下回った。 【今後の対策】 ・プロモーションの活発化や名古屋大学との新たな連携協定など研究者の流動性、多様性が向上しており、リサーチレジデントや任期付き研究員の受け入れは活発化している。継続して分野長会で若手研究者の受入れ推進を意思統一していく。 |

【参考】 公的研究費獲得状況（研究所分）

| | | 2022 実績 | 2023 実績見込 |
|--------------------------|--------|---------|-----------|
| 文部科学省(日本学術振興会)補助金 | 金額(千円) | 139,194 | 126,090 |
| | 件数(件) | 23 | 17 |
| 文部科学省(日本学術振興会)基金 | 金額(千円) | 48,464 | 39,975 |
| | 件数(件) | 37 | 34 |
| 厚生労働省補助金 | 金額(千円) | 850 | 900 |
| | 件数(件) | 2 | 2 |
| AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構) | 金額(千円) | 193,336 | 192,352 |
| | 件数(件) | 23 | 20 |
| JST(科学技術振興機構) | 金額(千円) | 53,877 | 39,000 |
| | 件数(件) | 3 | 1 |
| 国立がん研究センター研究開発費 | 金額(千円) | 3,000 | 3,500 |
| | 件数(件) | 5 | 7 |
| その他 | 金額(千円) | 330 | 0 |
| | 件数(件) | 1 | 0 |
| 計 | 金額(千円) | 439,051 | 401,817 |
| | 件数(件) | 94 | 81 |